

新任・退任教員よりご挨拶

新任挨拶

一般教養 川畑 弥生

今年度より一般教養に着任いたしました、川畑弥生と申します。昨年度までの7年間は福井高専に勤務しておりましたが、実はその前の3年間は阿南高専の教育開発推進室にて特命助教として勤務しておりました。このたび、7年ぶりに再び阿南の地に戻ることができ、大変うれしく思っております。

私の専門分野は法教育(主権者教育)です。授業を通じて、学生の皆さんが単に法の知識を学ぶだけでなく、法的なものの見方や考え方(法的思考力)を身につけ、自ら課題を発見・解決していく力を育てていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



一般教養 原 誠弥



令和7年9月1日付けで創造技術工学科・一般教養の助教として着任いたしました原誠弥です。私の専門は数学(幾何学)で、これまで微分幾何学、とくに曲面論の研究に携わってまいりました。また研究活動と並行して、高校生や大学生への数学教育、国際共同研究、学会発表などにも取り組んでま

いりました。阿南高専では、学生の基礎学力の確実な定着に努めるとともに、数学の面白さや思考する楽しさを伝えられる授業を実践したいと考えております。

教育活動や地域連携などあらゆる面で貢献できるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

化学コース 本田 晴香

令和7年4月に化学コースに着任しました、本田晴香と申します。専門は生物工学と生物教育です。

化学と生物は密接に関わっています。例えば、新型コロナウイルスの感染の仕組み、PCR検査の原理、新しいワクチンの開発も、両分野の発展があつてこそ成し遂げられまし

た。分子レベルで生命現象を理解し、技術として応用するバイオテクノロジーは、医療・環境・食品など幅広い分野で活躍しています。

これからますます進化するこの分野の魅力を学生の皆さんに伝え、身近な疑問を科学で探る楽しさを一緒に味わいたいと思います。



化学コース 山口 堅三



令和7年4月1日付けで化学コースに着任いたしました山口堅三です。大学での教育・研究を経て、約15年ぶりに本校へ戻ってまいりました。大学とは教育環境や学生の成長段階に違いもありますが、高専ならではの実践的な化学教育に改めて魅力を感じています。

専門は、ナノ構造を利用した光機能材料や計測技術に関する研究です。10月からは卒業研究生4名を受け入れ、次年度からの卒業

研究に向けて、実験や文献調査を通じながら研究テーマを学生とともに検討しています。また、ソフトテニス部の指導にも携わり、学業と課外活動の両面から学生の成長を支えていきたいと考えています。学生一人ひとりに寄り添った教育に努めるとともに、校友会の皆様とも連携しながら、本校の発展に貢献してまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

退任挨拶

情報コース 杉野 隆三郎

皆さんは Solarpunk という言葉をご存じだろうか。ご存じない方はすぐにググったほうが良い。

ソーラーパンクは 2010 年代初頭からフューチャーされてきた一種の SF のジャンルではあるが、そこには宮崎や大友が描くテクノロジーの極限点で迎えるディストピアの大団円ではなく、圧倒的な楽観主義から導き出される自然と共生するテクノロジーベースのコミュニティ形成の未来ビジョンが描かれている。そして、若者のメーカー文化、ローカルソリューション、ローカルエネルギーグリッドや自律機能システム、Jugaad 的課題解決など、現代的なキーワードが encourage されており、高専的に極めて興味深い。

高専教員になったのは、30年前学位論文を書き上げてこれから就職先を探そうとしていたときに知り合いの高専教員に誘われて千葉県の本更津高専に就職したことに始まる。これは、高専は小さいながらも学生が活発かつ優秀で講座制もないから助手でも好きなことができるよとの言葉通り、その後阿南高専に転勤してから教育に研究に実に様々なことに取り組ませていただいた。高専の最大の特徴は先に紹介した Solarpunk ワールドに

あるように徹底的に前向きかつ専門性が未分化な Jugaad 的なものづくり文化があるということに尽きる。ここ 10 年位は阿南高専で立ち上げた共創的なものづくりコミュニティの形成に注力してきたが、いまだ道半ばにある。(徳島県にサテライトオフィスを持つ IT 企業とともに地元に着した高専&ステークホルダーとの取り組みとその成果発表を学生諸君と発表できたことはすばらしい思い出です) 最近では、スタンフォード大が提唱したデザイン思考のプロセスを超えたユングの提唱したものとも違う「共時性」を共創コミュニティの形成に加えることができないかを夢想している。

高専設立黎明期から 60 年以上を駆け抜けてこられた阿南高専は、高専の教育改革分野において様々なプロジェクトを手掛け、優秀な学生や卒業生の皆様の献身的な貢献を通じて、旧態依然とした専門性教育を凌駕した高専的 (Jugaad 的) 学びの未来コンセプトの入り口まで到達されている。ソーラーパンク物語に最後のピースをはめ込んで "Solarpunk2.0" に進化させるのは、ひょっとしたら阿南高専ではないかと考えてる今日この頃である。



情報コース 吉田 晋



阿南高専電気工学科卒業生 (16E) の私が、母校である阿南高専の情報コースの教員として着任してから 14 年が経ちました。振り返れば月日の流れは早く、本年度をもって定年退職を迎えることとなりました。

企業において技術職としての経験はありましたが、教員として学生に向き合うことには、当初大きな不安を感じておりました。実習系の授業を中心に担当させていただきながら、自分なりの工夫を重ね、学生に分かりやすく伝えることを常に意識して取り組んでまいりました。

また、課外活動では、全国高専プログラミングコンテストや社会実装教育フォーラムに学生と共に挑戦する機会を得ることができま

した。学生たちと試行錯誤を重ねながら歩んだ時間は、教員としての大きな喜びであり、かけがえのない思い出です。

学生時代に過ごした懐かしい校舎や寮のあるこの地で再び仕事をさせていただき、さらに阿南高専 OB・OG の皆様とも関わることができたこと、そして多くの励ましのお言葉を頂戴したことに、心より感謝申し上げます。

来年度以降も 2 年間と短い期間になりますが再雇用により、引き続き阿南高専情報コースの授業を担当する予定です。また、悠久校友会の活動にも積極的に参加していきたいと考えております。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。